



石崎 俊二 議員

新教育長として 今後の取り組みは

教育長
新学習指導要領の実践に
向けて準備を進めている

問 来年度から新しい学習指導要領が順次実施されるにあたり、今後の取り組みは？

答 各小中学校では、実践してきた体験学習や調査学習等により自分たちで課題や解決の方法を話し合いながら整理するような授業展開になるように工夫しています。子どもたちが将来社会に出て、自分の考えを表現し、伝え合いながら協働して課題解決を進めることができるように新学習指導要領の実践に向けて準備を進めています。

問 学校教育と生涯学習との関係性が重要視されていると感じていますが、教育長の見解をお伺いします。

答 地域住民や社会教育団体、民間団体等、幅広い住民等の参画を図りながら、学校教育と生涯学習の連携・協働に努め、あらゆる世代の総合的な教育の充実に努めてまいります。

問 教職員の働き方改革についてお伺いします。

答 今年度の夏季休業中の8月12日から4日間の完全学校閉庁を実施いたしました。また中学校部活動については、国、県の方針を踏まえ、昨年度「新富町運動部活動の方針」を定め、各中学校において毎年運動部活動の活動方針を策定するとともに、年間、月別の活動計画、実績表も作成し、リフレクシユデイ等を設けるなど、教職員、生徒共に適切な休養が図られるよう、学校と連携して努めています。



問 部活動の外部指導者についてお伺いします。

答 教職員の定期異動に伴う部活動指導者の転勤、生徒数の減少に伴う県費負担教職員の減少などを考えますと、外部指導者の活用は不可避となつてまいります。教職員の働き方改革とも関係する重要な課題と認識していますので、学校や保護者をはじめとする関係者ともに協議を進めてまいります。

返納…



問 高齢者事故防止対策補助金の現在までの実績についてお伺いします。

答 安全装置搭載車両の購入者が13名、現車両にペダル踏み間違いつ時加速抑制装置を設置された方が8名となっています。

問 高齢者へのお祝い金等に代わる次の政策についてお伺いします。

答 公的支援だけでなく、住民主体で助け合い活動としても根付くように支援していく必要があると考え、本年度からは、空き家等を活用し自分たちで自由に集まることのできる居場所を開設するための立ち上げ資金を交付する事業も行っています。

9 月 定 例 議 会 議 案 及 び 議 決 結 果

議 案	議決日	可 否
令和元年度新富町一般会計補正予算	9月19日	原案可決
令和元年度新富町国民健康保険特別会計補正予算	〃	〃
令和元年度新富町後期高齢者医療特別会計補正予算	〃	〃
令和元年度新富町介護保険特別会計補正予算	〃	〃
令和元年度新富町水道事業会計補正予算	〃	〃
平成30年度新富町水道事業会計剰余金の処分について	〃	〃
新富町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
新富町税条例等の一部を改正する条例	〃	〃
災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
新富町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	〃	〃
新富町農業労働力調整協議会設置条例を廃止する条例	〃	〃
工事請負条約の締結について（令和元年度防衛施設周辺防音事業新富町立上新田小学校校舎解体工事）	〃	〃
物品売買契約の締結について（令和元年度特定防衛施設周辺整備調整交付金〔消防に関する施設：小型動力ポンプ積載車更新〕の整備事業）	〃	〃
平成30年度新富町一般会計歳入歳出決算の認定について	〃	認定
平成30年度新富町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	認定
平成30年度新富町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	認定
平成30年度新富町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	認定
平成30年度西都児湯情報公開・個人情報保護審査会特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	認定
平成30年度新富町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	認定
平成30年度新富町水道事業会計決算の認定について	〃	認定
専決処分の承認を求めることについて（令和元年度新富町一般会計補正予算）	〃	承認
国民健康保険料（税）協会けんぽ並みに引き下げる改善を求める請願書	〃	不採択
専決処分の報告について（損害賠償の額を定め和解することについて）	－	－
専決処分の報告について（損害賠償の額を定め和解することについて）	－	－
平成30年度決算に基づく新富町財政健全化判断比率報告書について	－	－
平成30年度決算に基づく新富町水道事業資金不足比率報告書について	－	－

臨 時 議 会 議 案 及 び 議 決 結 果

議 案	議決日	可 否
工事請負の締結について（令和元年度特定防衛周辺整備調整交付金事業上新田中学校プール改修〔建築主体〕工事）	7月10日	原案可決
専決処分の報告について（損害賠償の額を定め和解することについて）	－	－

特集

特集

特集

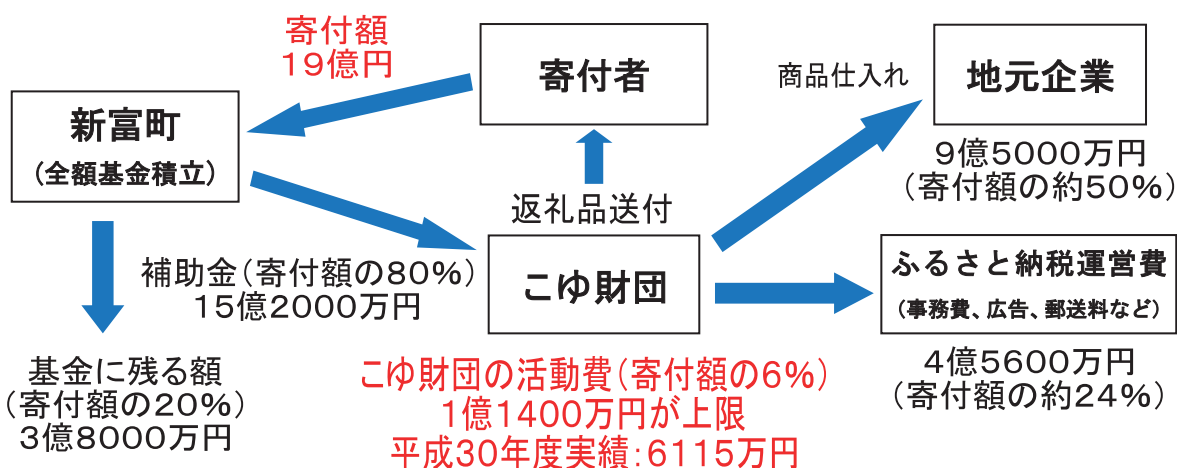
特集

一般財団法人こゆ地域づくり推進機構 通称「こゆ財団」

新富町議会は「こゆ財団」の役員と総合政策課による事業内容の説明、及び意見交換を行いました。財団は「ふるさと納税事業」を最も重要な活動資金源として、様々な事業を展開中。議員からの意見をご紹介します。



気になる「ふるさと納税」の仕組み（平成30年度寄付額19億386万円）



Q.基金に残した寄付金はどのように使うの？

A.今年度の場合は「商工振興事業補助金」「新富町空き家リフォーム補助金」「バス停留所屋根設置」「高齢者アシストプレーキ補助金」などに利用しています。(町が実施するもの)

Q.こゆ財団はどんなことをやっているの？

A.加工品開発、物品販売、人材育成、移住定住促進事業と、それに伴う講座の実施。地域おこし協力隊の委託・管理。こゆカフェの営業、こゆ朝市、空き家再利用、民泊事業など

○議員からの意見

- ・町外へのPR活動は盛んに行っているようだが、一部の町民は「こゆ財団」は何をやっているのかわからないなど町内での理解が深まっていない。町内向けのPR活動も大事ではないか。
- ・町からの補助金で事業を行っている財団が不動産を取得するのはいかなものか。
- ・人材育成などのセミナーを数多く開催されているようだが、町民への周知・告知が遅いと感じている。よい取り組みなのにもったいない。
- ・多くの町民の理解を得て、より近い存在になってもらいたい。今後の活躍に期待する。

町民インタビュー

聞かせて！あなたの未来 VOL. 1

町民の皆さんにお聞きします



たすけあい蓮代表 相馬まち子さん

プロフィール

日向市出身 新富町三納代在住
3人目の出産後すぐに介護の勉強を始められ、子育てをしながら介護福祉士とケアマネジャーの資格を取得。介護の仕事をして20年された経験から介護認定の有無に関係なくサービスが利用できることの必要性を強く感じて平成29年に地元新富町のボランティア仲間とともに「たすけあい蓮」を設立された。現在登録者が80名に達し精力的に活動されている。

新富町議会のここに期待しています

住んで幸せと思えるような町にしてほしい。
安心して暮らせる町づくりを期待します。

「たすけあい蓮」なにをするグループ？

日常生活でちょっと手助けが欲しいときに「助けてもらう」また、自分の得意な事・できる事で困っている人を「助ける」そんな「お互いさま」の精神で町民の「困った」に有償でサービスを提供するボランティアのグループです。

サービスを利用するにはどうすればいい？

年齢問わず、困っている方も、助けたい方も登録すればだれでも利用できます。高齢者だけではなく子育て中のママも利用できます。

これからの目標は？

すべての方が助け合い支えあいながらありがたいであふれる街にしたい。登録者をどんどん増やしていきたい。

助けてほしい方、支えてほしい方

会員募集中

- ★食事の支度・後片付け ★住居の掃除
- ★布団干し ★ゴミ出し ★ゴミ分別
- ★産前産後のお手伝い ★育児のお手伝い
- ★話し相手 ★外出・通院付き添いなど

助ける方、支える方

会員募集中

できる人が、できる時に、できる事を。
生活支援のお手伝いボランティアの登録まっています！
問い合わせ 申し込み先
たすけあい蓮事務局 相馬まち子
電話：080-5201-0222

編集後記

「天高く馬肥ゆる秋」

十月に入り過ごしやすい日が続いています。

空も高く、気持ちのいい秋。読書、スポーツを楽しむ、美味しいものを食べ、実り大きなものにしたいものです。

今回の9月議会では多くの傍聴者にお越しいただきました。我々も更なる自己研鑽に努めてまいります。

さて、今回から企画しました「聞かせて！あなたの未来」と題したインタビュー記事。今後いろいろな方にスポットをあてながら新富町の未来を語っていただきたいと思います。どうぞご期待ください。

さなえ

議会広報特別委員会

委員長 石崎 俊二
副委員長 小山 早苗
委員 松浦 美緒
出口 喜重郎
大木 俊二
吉田 憲市

連絡先 議会事務局

☎33-6139